

なごみま専科

平成 29 年 No.84
 趣味の呉服ゆうき
 〒668-0873
 豊岡市庄境 211-1
 TEL0796-22-5646
 FAX0796-23-6239
 ㊟-0120-930-670

一脇の「らくくり」

九月一日、二日「おしやれ小物の会」を開催しました。京都の小物屋「一脇」さんにお越しいただき、楽しい時間を過ごさせていただきました。草履の履き方が間違っていたなんて、呉服屋なのに恥ずかしい。草履はかかと十五㎜くらいはみ出る方が美しい。更に着物の裾を踏まないという理にかなった履き方だそう。現代は靴を履いて生活しているため、草履を履くときもしつかりと台に足が乗っからないと歩きにくい。更に親指と第二指の間が鼻緒に食い込み痛い。ゆうきでお薦めしている「坪寄せ草履」はまさにそのお悩みを解決する優れもの。履く人のことを考えた草履で利点はあるし、何より履き心地は良い。しかし、そもそも草履は鼻緒まで

深く入れるものではないらしい。鼻緒が中央に上げてあるのは左右交互に履けば底のすり減りが均等になり、長持ちをするそう。物を大切にすると日本人の知恵だったので。一般的な草履は前下りの形状が多く、そのため歩かたに指と指の間が鼻緒に食い込み痛くなるのだそう。一脇さんは、普段から草履をおしやれに履いてほしい、そのためにずっと履いていても楽に履ける草履を開発。その名も「らくくり」。皮を張った「かわり」と下駄のよな「きりり」があります。この度多くの「らくくり」仲間が増えました。どんどん歩いて足元のおしやれを楽しみましょう。



牛皮にぼかしの鼻緒を上げた「かわり」

ゆうきHP製作中

この度ゆうきのホームページを製作することになりました。より多くの方にお店の存在を知っていただき、また当店の想いが伝わるものにしていきたいと考えています。京友禅の職人さんにも取材協力していただきました。間もなくWEB上でご覧頂けると思います。今しばらくお待ちください。



本手描き 京友禅
 下絵師 櫻本正義

三代目奮闘記

若い世代にも着物文化を広げようと奮闘中の三代目。八月下旬、出石永楽館横の民家を借りてゆうき2号店？を出店。ではなく、いざし得するゼミナールに参加しました。ビーズ細工体験は講師の先生におまかせし、せつせと木綿や浴衣のPR。「わあかわいい。これほしい。」そんな言葉に顔がほころぶ三代目なでした。

女将のつぶやき

創業以来、ゆうきが大変お世話になっている京都の染織メーカー「丸吉染織」様が50周年を迎えられました。11月中旬には、同社50周年をお祝いする展示会を開催する予定です。メディアでも取材を受けられることが多くなった、古代辻が花の「佐々木宗一」先生にもお越しいただく予定です。



きもの歳時記

今年の夏は厳しい暑さになり、着物を着る気にはなれなかったかもしれせん。ようやく秋の気配も感じられるようになりました。今年の中秋の名月は十月四日。この日ゆうきで皆様とともに「観月会」を開催したいと思えます。ぜひ、着物に着替え美しい満月を眺めながらおいしいお酒を呑みましょう。

観月会のごあんない